

第 11 次厚木市総合計画長期ビジョン素案に対する 「オープンハウス」実施報告書

目的	第 11 次厚木市総合計画の策定に向け、普段市政に参加する機会が少なかった市民に対してオープンハウスを開催し、長期ビジョン素案に対する市民の意見等を聴取する。
開催日時	令和 7 年 6 月 11 日（水）午後 5 時から午後 6 時まで
開催場所	荻野運動公園
対象	荻野運動公園 来場者 ※夕焼け市と同日開催
参加者	26 人
内容	意見記入シートを基に参加者から意見を伺いました。主な御意見は次のとおりです。
【問 1】次のようなまちを実現するためには、どのような取組が必要だと思いますか。	
1. 誰もが訪れたくなり、住みたい、住み続けたいと思える魅力にあふれるまち ・バス等の交通機関の充実。バス料金の見直し。 ・駅前での美化や治安維持。 ・駅前で買い物ができる商業施設の充実、商店街のにぎわい創出。 ・新鮮で安心な食事を提供するような飲食店の誘致。 ・子育てが終わった年代へも優しくしてほしい。今の政策は子育て世代のみが優先されすぎている。 ・EV 車の推進。コミュニティバスや市役所の公用車への EV 車の導入、市民の EV 車購入補助など。 ・イベントの充実。	

- ・文化や教育を豊かにする取組。
- ・自然環境も市街地も身近にあること。
- ・治安が良く安心して暮らせる環境づくり。

など

2. こどもたちが自分らしく成長し、若者が安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるまち

- ・1歳まで受けられる子育てサービスの対象年齢を拡大させる。
- ・こどもの大学卒業までの補助制度の充実。
- ・安心して出産、子育てができるような経済支援を増やしてほしい。
- ・こどもたちの声は「宝物」だと思います。笑顔のこどもたちが増えることを切望します。
- ・おむつ購入費用等の補助。
- ・小児科（2次～3次）、NICUの常設、療育の拡大。

など

3. 多くの企業が立地し、働く場所、働きやすい環境が充実したまち

- ・公共交通機関（特に夜の便）の充実。
- ・市内企業による地元の人の雇用促進。
- ・女性が差別されず自由に能力の発揮できるような企業の育成。
- ・交通混雑の解消、交通利便性の向上。
- ・未利用地を活用して企業、工場を誘致し、雇用の創出につなげる。
- ・森の里地区開発中の工業団地への企業誘致
- ・半導体の会社を誘致
- ・国立機関を複数誘致

など

【問2】その他、本市のまちづくりについて御提案等がございましたら、御記入ください。

- ・災害対策にもっと力を入れるべき。
- ・古い公園のリニューアルや、公園の少ない地域に新しい公園を整備してほしい。
- ・高齢者が暮らしやすいように、高齢者の働く場所や、生き生きと暮らせるコミュニティ、地域のつながりの創出に向けた取組が必要。
- ・バス料金が高くなり移動が不便になるので、コミュニティバスの運行があると良い。
- ・以前は駅前に献血ルームがあったが今は海老名駅に移ってしまったので不便。
- ・バスの便をもっと増やすべき。特に、横移動の便がないので不便。
- ・開発によって自然が減少しないよう、自然環境を保全しながら開発を行う方が良い。
- ・駅前のにぎわいがなくなっているので、商業施設を誘致した方が良い。

など

【当日の様子】

